

事務事業名		し尿処理費等負担金事業		☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	02自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目				
	施策名	05地域環境の保全と共生				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03し尿の適正処理の推進				01	04	02	03	00
根拠法令										
所属	部課名	生活福祉部市民生活環境課		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 H10 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	金野高之								
	係名	環境衛生係	電話		0192-27-3111					
	担当者	迎山 光	内線		124					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
◆大船渡市、陸前高田市及び住田町が平成10年3月、し尿の収集、運搬及び処分に関する事務等を行うため設置した気仙広域連合に対する負担金を支出する。 負担割合 管理運営費 均等割 100分の20、人口割 100分の80 し尿処理に係る管理運営費 均等割 100分の20、利用割 100分の80 ◆業務内容は、①負担金の支出、②組合議会・衛生運営会議等開催時の連絡調整、③組合関連議案作成 ◆事業費は、負担金として支出される。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計(B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 広域連合の処理する事務ごとに定めた均等割、人口割、利用割で算出した分担金を支出する。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様	→	名称	単位
		ア し尿受入量	kℓ/年
		イ 浄化槽汚泥受入量	kℓ/年
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (直接の対象) 気仙広域連合 (間接の対象) 市内から排出されるし尿・浄化槽汚泥	→	ウ 処理施設稼働日数	日/年
		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) し尿・浄化槽汚泥が適正に運搬、処分される。	→	カ 気仙広域連合決算額(衛生費)	千円
		キ 処理施設能力	kℓ/日
		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 排出されたし尿・浄化槽汚泥を適正に処理する。	→	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		サ 汚泥、し尿の処理残渣量 (一般廃棄物処理事業実態調査)	トン
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	国庫支出金	千 円							
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	396,132	105,502	97,885	112,528	112,528	112,528	
	事業費計 (A)		千 円	396,132	105,502	97,885	112,528	112,528	112,528	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	40	40	40	40	40	40	
		人件費計 (B)	千 円	160	160	160	160	160	160	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	396,292	105,662	98,045	112,528	112,528	112,528
⑤活動指標			ア	kℓ/年	0	21,826	21,621	22,908	22,908	22,908
			イ	kℓ/年	0	7,387	8,480	7,213	7,213	7,213
			ウ	日/年	0	365	365	365	365	365
⑥対象指標			カ	千円	199,975	409,209	200,539	200,539	200,539	200,539
			キ	kℓ／日	130	130	130	130	130	130
			ク							
⑦成果指標			サ	トン	0	1,105	1,191	95	95	95
			シ							
			ス							

事務事業ID	0088	事務事業名	し尿処理費等負担金事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和39年1月、気仙地区衛生処理組合が設立され、大船渡市(旧三陸町を含む。)、陸前高田市、住田町のし尿の収集、運搬及び処分に関する事務の共同処理を開始し、平成10年3月に設立された気仙広域連合に引き続き負担金を支出している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
し尿及び浄化槽汚泥の収集量は、公共下水道の供用開始地域の拡大等により、平成12年度をピークとして、以降は減少している。
東日本大震災により気仙広域連合衛生センターが浸水し、し尿及び浄化槽汚泥の処理ができなくなったことから、平成23年度は、広域連合と構成市町の協議によって、各市町が個別に収集運搬、運搬、処理に係る委託契約を締結し、内陸の施設で広域処理を行った。
平成24年度からは、施設が復旧し、通常どおり処理している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
・ この事務に対する意見・要望はほとんどない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 し尿(一般廃棄物)の適正な収集・処分のためには、広域で共同処理するのが効率的な方法である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 大船渡市のし尿は、公共下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で処理している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 大船渡市のし尿は、公共下水道、浄化槽、漁業集落排水施設の処理分以外は気仙広域連合で処理しており、その収集量は人口や汚水処理施設の整備率、普及率によって決まる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、し尿の処理は市町村の義務であり、廃止、休止はできない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒【理由】(具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市町村合併等により一部事務組合、広域連合の枠組みが変わらなければ統廃合できない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 広域連合の事業実績(し尿収集量)で支出額が増減するので、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 業務内容は、負担金の支出であるので、人件費の削減は不可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 最終的に大船渡市全体のし尿処理に係ることであり、全市民が受益者となる。

事務事業ID	0088	事務事業名	し尿処理費等負担金事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成24年度に災害復旧工事が完了。 震災前と比較し、復旧・復興工事関係者の宿舎等からの浄化槽汚泥が増加しており、施設の処理能力(130kg/日)いっぱいの処理が続けられている。今後も、同様の状況が続くことが見込まれる。																					
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
② 有効性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) し尿、浄化槽汚泥を適正に処理するため、事業を継続実施する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	市民生活環境課長	金野高之

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 施設の災害復旧が完了したことで順調に処理が行われている。構成市町として負担金を支出するとともに運営に参画し、適切に執行されている。																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 下水道の普及により、し尿の処理量は徐々に減少していくものと見込まれるが、市内全域に普及するにはまだ長期を要すること、また、復興工事関係者の宿舎等からの浄化槽汚泥の処理量が増えていることから、こうした状況を注視しながら、引き続き負担金を支出するとともに、構成市として運営に参画していく。																						
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項